

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 23 年度第 3 回 議事録(案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 23 年 9 月 26 日 (月) 14:30~17:00 予定					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	安福 規之	○	★理事	小島 芳之	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	×	部員	長田 昌彦	○	部員	坂元 耕三	×
部員	西岡 英俊	○	部員	畠山 正則	○	部員	平井 貴雄	×
★部員	宮田 喜壽	×	★部員	吉嶺 充俊	○	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川 直	○						

★：H20 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-23.3.0	平成 23 年度 第 2 回基準部会議事録案
資料-23.3.1	平成 24 年度 予算スケジュール及び平成 23 年度予算資料
資料-23.3.2	平成 23 年度地盤工学会賞候補募集要項
資料-23.3.3	ISO 関係 国際会議派遣理由書
資料-23.3.4	新規制定基準案「ベンダーエレメント法による土のせん断波速度測定方法」
資料-23.3.5	改正基準素案「載荷試験関係」 平成 23 年度第 2 回基準部会にて審議された改正素案の修正原稿
資料-23.3.6	規格・基準の英文化に関する意見書（地盤調査規格・基準委員会）
資料-23.3.7	新設WG設立趣意書「動的コーン貫入試験方法基準化WG」
資料-23.3.8	「地山補強土工法マニュアル」 価格検討資料
資料-23.3.9	増刷検討資料：地盤調査の方法と解説
資料-23.3.10	「技能試験」の実施に関する検討資料
資料-23.3.11	理事会報告資料 [7/29理事会議事録案]
資料-23.3.12	委託契約書「平成 23 年度国際標準開発事業」：（株）三菱総合研究所（経済産業省）
資料-23.3.13	委託契約書「平成 23 年度戦略的国際標準化推進事業」：（株）三菱総合研究所（経済産業省）
資料-23.3.14	研究委託契約書：シーメンスヘルスケアダイアグノスティクス
資料-23.3.15	室内試験規格・基準委員会報告資料 [7月7日議事録案]
資料-23.3.16	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [9月12日議事録案]
資料-23.3.17	会員からの質問の回答（地盤調査規格・基準委員会）
資料-23.3.18	委員会活動レビューシート
回覧資料	第 31 回土木技術専門委員会資料 [9 月 13 日]

審議事項

1. 前回議事録の確認

(資料-23.3.0)

議事録を一部修正の上、承認した。(7 (1) 改正素案 岩盤分類番号重複)

2. 全体関係

(1) 日下部会長からの提案 継続審議 (理事会報告)

- ① JGS 基準の JIS 化の促進
- ② 基礎設計・施工基準の促進
- ③ ISO 活動への資金獲得
- ④ CEN のアジア版組織の構想
- ⑤ HP 掲載内容の改訂について

同日開催された「地盤工学会としての ISO への統一的取り組み方法検討会」の概略が部長より紹介された。検討会の議論を踏まえて、学会が作成する JIS 規格は ISO に整合化させることを原則とするものの、整合化（完全に一致）させた場合の国内の影響も勘案して、規格ごとに柔軟な対応（修正も含む）をとるという方針が示された。この方針を示すにあつたての主な根拠は以下の2つによる。

・「JIS（日本工業規格）と国際規格との整合化の手引き（平成 11 年 7 月改訂）」（坂元委員資料）

・「ISO との整合性については、国益を大きく阻害する規格については、JIS および JGS を尊重し、必ずしも整合させていない」（木幡前 ISO 国内委員会委員長作成メモ）

JGS 基準の JIS 化促進： JIS 化ならびにそのメンテナンスには時間と労力がかかるため、JIS 化する基準の優先順位をつけることが必要である。ただし、その判断基準の方針を部会で示すのか、常設委員会の判断とするかについては結論が出なかった（継続審議）

ISO 活動への資金獲得： ISO 国内委員会の働きかけにより次年度に土工協から支援をいただけるとの見通しが部長より紹介された。また

規格と関係が深い省庁関連部署への働きかけも必要ではないかとの意見も出された。

(2) 平成 24 年度予算

(資料-23.3.1)

例年通り、予算案を作成する。近日中に事務局より予算積み上げのための資料を常設委員会幹事に送付するので、担当 WG の構成と会議の開催頻度を確認する。

地盤調査関連の改訂規格・基準の英文化費用を予算に計上することを確認した。

(3) 平成 23 年度地盤工学会賞候補募集

(資料-23.3.2)

該当する候補があれば、幹事に申し出ることを確認した。

3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

① 委員の交代 (理事会報告)

・高木 宗男 委員 ((株) 高速道路総合技術研究所道路研究部土工研究室)
→阿部 哲生 氏 (同所)

・理由：社内の人事異動のため。なお、阿部氏には WG5（安定化・締固め特性）
をご担当いただく予定

委員の交代を承認した。

(2) 地盤調査規格・基準委員会

(3) ISO 国内委員会

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

(6) 部員公募への応募 継続審議

4. ISO 国内委員会 関係

(1) 国際会議派遣 (理事会報告)

(資料-23.3.3)

○会議名：韓国標準局における日本提案の認証試験立会（メール審議）

- ・派遣先：韓国・ソウル（ソウル国立大学）
- ・出張者：坂井 宏行 グループリーダー，竹田委員
- ・期間：2011年8月4日～8月6日
- ・理由：別紙参照
- ・費用：経済産業省からの補助金を充当

○会議名：第26回ISO/TC 190年次総会出席（メール審議）

- ・派遣先：豪州・アデレード
- ・出張者：坂井 宏行 グループリーダー，野上委員，藤田委員，
浅田グループ幹事，和田委員
- ・期間：2011年9月17日～9月26日
- ・理由：別紙参照
- ・費用：経済産業省支弁（補助金および重点TC指定）

5. 地盤工学表記法委員会 関係

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

(1) 地盤工学会基準（JGS）の改正案（理事会審議）（資料-23.3.4）

- ・新規制定基準案「ベンダーエレメント法による土のせん断波速度測定方法」
基準案を承認した。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

(1) 地盤工学会基準（JGS）の改正素案（理事会報告）（資料-23.3.5）

編・WG番号	章タイトル	基準番号
第8編 (WG5)	載荷試験	1521, 1421, 3531, 3511, 3411, 3421, 土壌硬度試験, 針貫入試験

※上記が前回審議案件のうち、指摘部分の修正報告

第1編 (WG9)	岩盤分類	岩盤不連続面分布の幾何学的情報に関する調査方法 3821 、3811, 3821
第3編 (WG1)	物理探査・検層	1121, 1122 (2基準)

※上記が前回審議案件のうち、特に意見が出されなかったもの

第5編 (WG2)	ボーリング・サンプリング	1221, 1222, 1223, 1224, 1231, 3211 (6基準)
第6編 (WG4)	サウンディング	1411, 1431, 1433, 1435 (4基準)
第7編 (WG3)	地下水	1311, 1312, 1313, 1314, 1315, 1316, 1317, 1321, 1322, 1323 (10基準)
第9編 (WG6)	現場密度試験	1611, 1612, 1613, 1614 (4基準)
第10編 (WG7)	現地計測	1711, 1712, 1718, 1721, 1725, 1731, 3711, 3731, 3541, 3551, 3721, 3722 (12基準)
第11編 (WG8)	環境化学分析のためのサンプリング	1911, 1912, 1921, 1931, 1951, 1941, 1942, 1943 (8基準)

※上記が7月の部会時に審議・報告が終了したもの

WG5, WG9, WG1 作成の10の基準案の公示を承認した。

(2) 規格・基準の英文化に関する意見

(資料-23.3.6)

青本改訂にあわせて規格・基準の英文化に関する費用を基準部の24年度予算に計上することを確認した。赤本では今年度の委員会予算の範囲内で試行的に英文化を実施する。

対応 ISO 規格の日本語化を学会が行って欲しいとの要望があったものの明確な結論は得られなかった。

すでに英訳がある改訂前の基準については、制定年と最新版でないことや利用上の注意点に関する断り書きを1枚にまとめた表紙を各基準につけて、HPより無料でダウンロードできるようにすることを確認した。表紙の書式と断り書きの内容については幹事とその案を作成することとする。JIS規格については、規格協会との調整が必要との意見もあり、明確な結論は得られなかった。外部からの資金を獲得し、英訳を行う案については、継続的なメンテナンスの実施が困難であるとの意見があった。

(3) 新設 WG の設置

- ① 動的コーン貫入試験方法基準化 WG (理事会報告) (資料-23.3.7)
WG の設立を承認した。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

(1) 地山補強土工法マニュアルの寄贈について

- ・要望：特別会員全員（900 団体程度）に 1 部ずつ寄贈したい
- ・経緯：龍岡主査より「今回の東日本大震災に対する学会提言に関連するために、本工法を広く普及したいとの提案があり、委託会社及び WG として賛成した。
- ・費用：平成 21 年度未払で計上していた原稿料の一部を寄贈分の印刷・発送費に充てたい。

項目	H21 未払金	支出見込	要望案	備考
印刷・編集費	1,300,000	1,000,000	1,000,000	
原稿・調整料	1,000,000	1,000,000	300,000	
増刷代金	—	—	550,000	
発送費	—	—	270,000	
合計	2,300,000	2,000,000	2,100,000	

上記マニュアルの寄贈を承認した。

9. 販売促進 WG

10. 基準部所管刊行物

(1) 地山補強土マニュアルの販売価格 (メール審議) (理事会報告) (資料-23.3.8)

- ・販売価格案：会員特価：2,835 円 (税込, 本体 2,700 円)
定価：3,990 円 (税込, 本体 3,800 円)
- ・設定根拠：通常の刊行物であれば、添付 (左の表) のような積算を行い価格を決めることとなりますが、本刊行物は受託業務の一環でできあがったものであり、初期費用 (原稿料, 印刷代および直接費等) はすべて外部資金によりまかなえております。ワーキンググループからは、“広く頒布できるようなるべく安価にて発刊したい”との要望があり、添付 (右の表) のような計算で、再版時に持ち出しとにならないような価格を案として提案します (事務局)。

(2) 地盤調査の方法と解説の増刷 (メール審議) (理事会報告) (資料-23.3.9)

- ・増刷部数案：100 部
- ※このほか、丸善出版からの返品に対応するため、カバーを 200 枚印刷

11. その他

(1) 「技能試験」の実施に関する検討 (資料-23.3.10)

技能試験を学会が行うことのメリットやデメリット、地盤分野で試験機関認証がコンクリート分野と比べて浸透していない要因等について議論がなされた。今回の検討の中では学会として一定のメリットは認めつつも、積極的に技能試験を実施すべきとのコンセンサスは部内では得られなかった。なお、今後関連部 (調査部、事業部) との意見交換も踏まえながら検討をつづけることとした。

報告事項

1. 理事会 (7 月 29 日) 開催報告 (資料-23.3.11)

部長より学会財政の安定化に向けての課題と改善策 (案) について、基準部に関連する項目の説明があった。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 23 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(資料-23.3.12～23.3.14)

(理事会報告)

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	100 万円		×		
・三菱総合研究所 (回答作成)	50 万円		○		
・三菱総合研究所 (重点TC旅費)	135 万円		○		
・日本土木工業協会	50 万円		未定		
・日本規格協会	×				
・経済産業省		300 万円	○		
・シーメンス・ヘルスケア		50 万円			委託研究*1
小計	335 万円	350 万円	※1 委託研究は、WG10 のグループ内で実施。委託費は、ISO 対応活動費として使用		
合計	635 万円				

助成 1 件、受託 2 件の追加があったことが事務局より報告された。

(2) 地盤工学表記法委員会

(3) 室内試験規格・基準委員会

① H23 第 1 回委員会 (7 月 7 日開催) 報告

(資料-23.3.15)

会員からの質問と回答について、HP に掲載すること検討していることの報告があった。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① H23 第 2 回委員会 (9 月 12 日開催) 報告

(資料-23.3.16)

第 2 回委員会の開催報告があった。

② 会員からの質問の回答

(資料-23.3.17)

8 件の質問とその回答について報告があった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

(6) 販売促進 WG

(7) 英文HP

(8) 平成 22 年度委員会活動レビューシート

(資料-23.3.18)

4. 日本工業標準調査会 土木部会

●H23 年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	安福 規之	
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 木幡 行宏 平田 健正 (坂井宏行) 三木 博史	
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 動的試験基準検討 WG	古関 潤一 (小口秀俊) (乾 徹) (藤原照幸) (塚本良道) (高木宗男) (椋木俊文) 山下 聡 安川 郁夫 伊藤 洋	

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層（第3編） ・WG2 ボーリング・サンプリング（第4,5編） ・WG3 地下水（第7編） ・WG4 サウンディング（第6編） ・WG5 載荷試験（第8編） ・WG6 現場密度試験（第9編） ・WG7 現地計測（第10編） ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング（第11編） ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査（第1,2編） ・WG10 地盤環境調査（第12編）	谷 和夫 松島 潤 曾根田正俊 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝	
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	岸田 隆夫	

5. その他

- 1) 理事会（平成23年 10月 5日（水）開催予定）への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成 23 年 月 日（ ）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 23 年度第 4 回：平成 23 年 11 月 11 日（金）14:30～
（対応理事会 H23.11.30）
 - ・ 23 年度第 5 回：平成 24 年 1 月 日（ ）14:00 時～
（対応理事会 H24. 1.27）
 - ・ 23 年度第 6 回：平成 24 年 3 月 日（ ）14:00 時～
（対応理事会 H24. 3.16）
 - ・ 24 年度第 1 回：平成 23 年 5 月 日（ ）14:00 時～
（対応理事会 - ）

☆ 平成 23 年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎理事会

○ 運営連絡会議

- ① 4月 22 日（金）
- ② 5月 13 日（金）
- ★ 6月 10 日（金） 総会/理事会
- ③ 6月 24 日（金） ※書面審議
- ④ 7月 29 日（金）
- ⑤ 9月 30 日（金）
- ⑥ 10月 28 日（金） ※書面審議
- ⑦ 11月 30 日（水）
- ⑧ 12月 22 日（木） ※書面審議
- ⑨ 1月 27 日（金）
- ⑩ 2月 24 日（金） ※書面審議
- ⑪ 3月 16 日（金）

 ⑫ 4月 27 日（金） ※書面審議

⑬ 5月 18 日（金）

★ 6月 日 () 総会/理事会